

14. タングルウッドの奇跡

五嶋みどりは世界的なヴァイオリニストとして有名な日本人です。みどりは、3 歳頃からヴァイオリンの英才教育を母親の節のもとで受けます。彼女は母親の期待に応えて、どんどん才能を伸ばし、1982 年にはアメリカのジュリアード学院でヴァイオリンのレッスンを始めます。そして、11 歳の時、ニューヨーク・フィルハーモニーのコンサートでデビューを飾り、天才少女と呼ばれるようになりました。その天才ぶりを示すエピソードがタングルウッドの奇跡です。

みどりが 14 歳の時、マサチューセッツ州で毎年夏に開かれる、タングルウッド音楽祭で演奏することが決まりました。レナード・バーンスタインの指揮で演奏中、彼女が使っているヴァイオリンの弦が切れてしまうというトラブルが起きました。この時、みどりが使っていたヴァイオリンは 3/4 サイズの大きさでしたが、コンサートマスターが使っていた普通サイズのヴァイオリンに持ち替えて演奏を続けました。ところが、コンサートマスターから借りたヴァイオリンの弦がまた切れてしまうトラブルが起きました。今度は、副コンサートマスターが持っているヴァイオリンを借りて、最後まで演奏を終えました。二度にわたって弦が切れるというトラブルで演奏を中断するところだったにも関わらず、慌てることなく冷静に落ち着いて、涼しい顔で演奏を続けたみどりにバーンスタインも感激し、コンサートが終わると彼女を何度となく強く抱きしめました。翌日のニューヨーク・タイムズ紙は「14 歳の少女がタングルウッドをヴァイオリン三挺で征服」という見出しでこのニュースを伝え大きな話題になりました。

天才少女と言われたみどりも、全てが順調だったというわけではありません。**その影 ***で母親との関係で問題を抱えていたようです。母親のレッスンは厳しく、みどりが小さいからと言って全然妥協せず、納得いくまで何度も練習させたそうです。そんな母親に抵抗できなかったみどりは一時期、摂食障害という病気になってしまい病院に**入院せざるを得ませんでした ****。その後、みどりは母親から自立しない限り病気を克服することはできないと考え、ボランティア活動や無料のコンサートなどを積極的に行い、その中で病気を克服していったそうです。みどりの親子関係は理想とは言えなかつ

たかかもしれませんが、この母親がいなかったら、みどりは天才と呼ばれることも一流のヴァイオリニストになることも、そして、何よりタングルウッドの奇跡も起こらなかったかかもしれません。

単語リスト：

英才教育（えいさいきょういく）	Giáo dục anh	感激（かんげき）	Cảm kích, xúc động
才（năng khiếu）		征服（せいふく）	Chinh phục, xâm chiếm
飾り（かざり）	Đồ trang trí	妥協（だきょう）	Sự thỏa hiệp
奇跡（きせき）	Kỳ tích, phép màu	納得（なっとく）	Lý giải, đồng tình
演奏（えんそう）	Biểu diễn	摂食障害（せっしょくしょうがい）	Chứng rối loạn ăn uống
指揮（しき）	Chỉ huy	克服（こくふく）	Khắc phục
弦（げん）	Dây (đàn, cung)		